

外邦図作成の歴史を記録に留める各種一覧図と 外邦図の『初刷』一覧

長岡正利 (国土地理院客員研究員/国土地理院OB)

今日のお話しの内容

- 外邦図作成の歴史を記録に留める「地図一覧図」
(索引図：Index map)
- 陸地測量部における外邦図初刷^(しよずり) — その行方と現状
- 外邦図初刷(約2.3万枚)の一覧 『国外地図目録』と『国外地図一覧図』
- 追補：外邦図の精度、ほか

【注】

1. 内容は、『ニューズレター』No.2の小稿内容を、図によって補完するものです。
2. " 前回の「コメント/高木菊三郎旧蔵図」の図版とも、一部重複があります。

今日のお話しの要旨 — 1/3

外邦図作成の記録としての「地図一覧図」(Index Maps)

昔の拙稿、「長岡(1993): 陸地測量部外邦図作成の記録・・・、地図31-4」に記述。
2003年時点の外邦図一覧図所在については、『外邦図研究ニューズレター』No.2に。

冊子体の、まとまったものとして:

- 『北方地区地図整備目録』(参謀本部、昭和18.5:17図業)
- 『南方地域地図整備目録』(参謀本部、昭和17.12:33図業)
- 『関東軍調製・陸軍秘密 地図一覧図』(関東軍司令部、昭和16.12:11図業)
- 『支那地域兵用地図整備目録』(大本営陸軍部、昭和19.6:25図業)
- 『支那製地図一覧図』(陸地測量部、昭和11.3:13図業)

ほかに、多数の一枚刷の一覧図もある。

外邦海図を含む海図一覧図は、『水路図誌目録』(昭和19年版と22年版)
ほかに、『航空図一覧表』(参謀本部、昭和18.7:9図業)

一覧図は業務用資料のため、系統的保存の対象とはされず。
国立国会図書館でも蔵書扱いはされない。「地図図式」「作業規程」なども同様。

今日のお話しの要旨 — 2/3

陸地測量部における外邦図「初刷」 — その行方と現状

「初刷」: 当時から、印刷した総ての地図の初版は、「初刷」として、その1枚を永久保存とする規定があった。修正改版の印刷図も同じ。

「外邦図初刷」のみ、接收を免れるために、疎開先の松本市から敗戦直後に高山市の関係者宅に移した。

昭和22年に密かに稲毛に移した。三宅坂を出て以来、ここまでは開梱せず。
— 公式には「存在しない」状態がその後も継続。

その後、整理して「初刷」1組を作った。各地から移されて来た地図もあった。

昭和33年に、防衛研修所戦史室経費で、その目録(4分冊)と一覧図(4分冊)を作成。

「初刷」は、昭和40年代初めに、「色々な面倒」をおそれて外部の組織に移管。

以後、そのままの状態推移。次記の『国外地図目録』に記されたと同じ、2.3万枚。
(これが、作成された外邦図の完全なセットに相当)

— 外邦図の製図原図と印刷原図については、『外邦図研究ニューズレター』No.2 ご参照。

今日のお話しの要旨 — 3/3

外邦図初刷(約2.3万枚)の一覧

『国外地図目録』と『国外地図一覧図』

『国外地図目録』

個別図業(図名)を各1行として、縮尺・作成年次などを付す。
所属『国外地図一覧図』との対象番号を記載。

『国外地図一覧図』

既製の一覧図(またはその写真複製)を台紙に貼って、各地図の有無を表示。
一覧図がないものは手書きで作って、そこに記入。

これらの作成の経緯

昭和32年度に、防衛庁防衛研修所戦史室から、資料整理用の経費を貰って作る。
目録(4冊)と一覧図(紙版4冊)のペア。正規は5セットを作る。

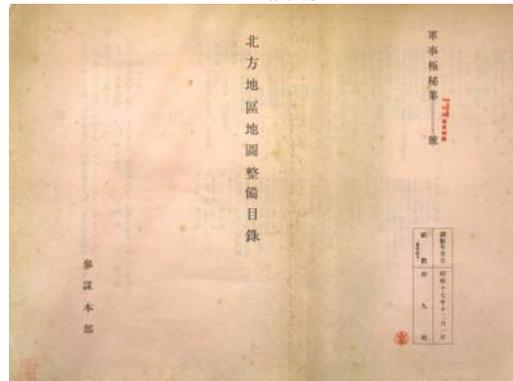
防衛研修所には1部を納めた(33年3月末)。その後、借交社にも渡った。

現在の「外邦図(初刷)」の所蔵もにもあり。

国立国会図書館地図図室にも。(蔵書登録は無し:NDL-OPACの対象外。)

外邦図の「地図一覧図」: その一例

— 『北方地区地図整備目録』(参謀本部、昭和18.5:17図業)より



以下、『北方地区地図整備目録』からの抄録

目次

- ① 索引図(其一)
- ② 索引図(其二)
- ③ 奥地
- ④ 航空図
- ⑤ 兵要地誌(其一)
- ⑥ 兵要地誌(其二)
- ⑦ 五十万分一
- ⑧ 二十万分一
- ⑨ 十万分一
- ⑩ 五万分一
- ⑪ 二万五千分一
- ⑫ 一万五千分一
- ⑬ 一万分一
- ⑭ 五千分一
- ⑮ 二千五分一
- ⑯ 一千五分一
- ⑰ 参考圖一覽表

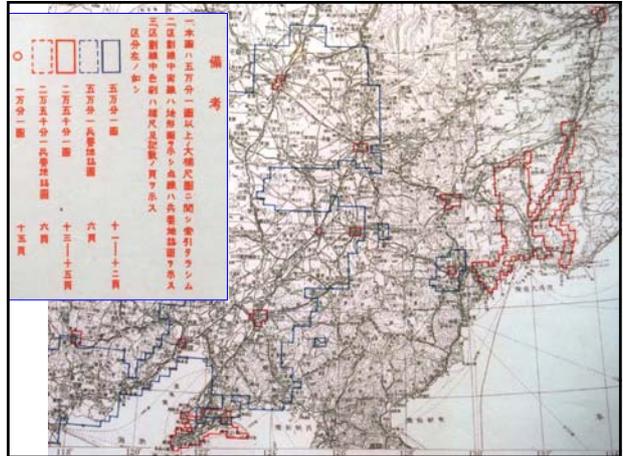
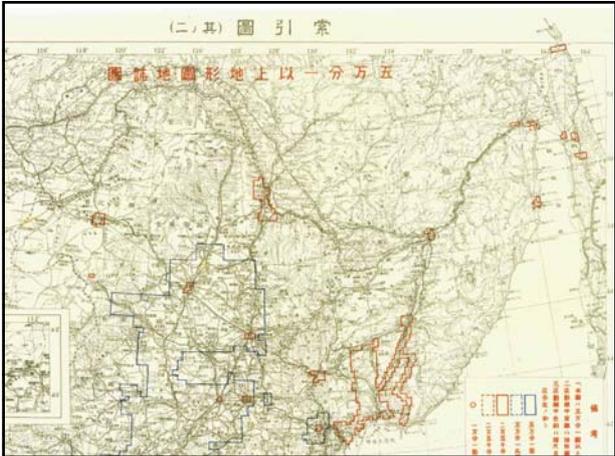
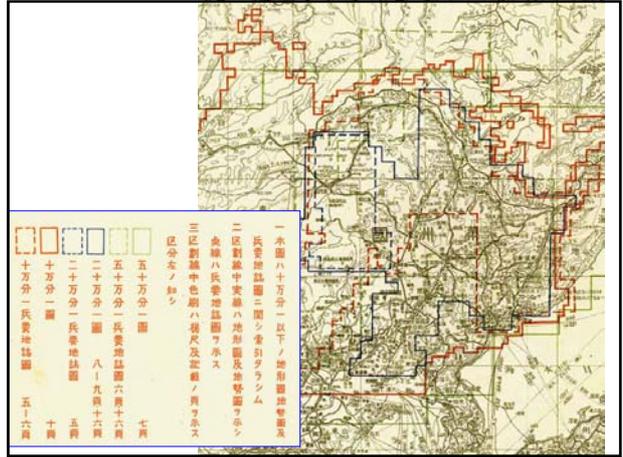
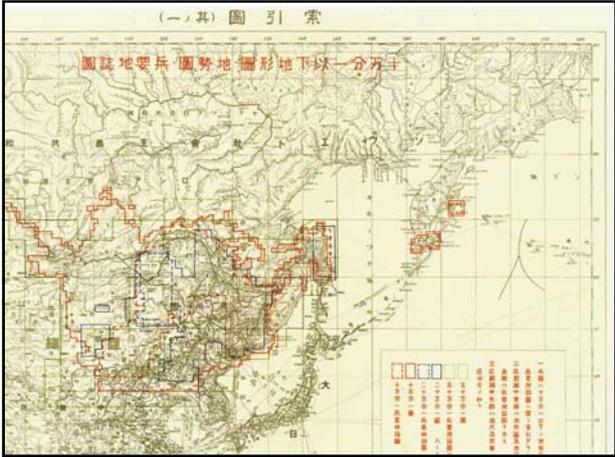
緒言

一、本書ハ參謀本部(陸軍部)及關東軍司令部(關東軍)調製ニ係ル
北方地区既成地圖ノ現況ヲ明瞭ニシ其ノ利用ニ便スラシム
二、取捨區分及製圖年記ノ如シ

1、軍事秘密
2、圖名下方ノ數字ハ製圖年記(昭和)ヲ示ス括弧ヲ施セルモノハ大正或ハ明治トス

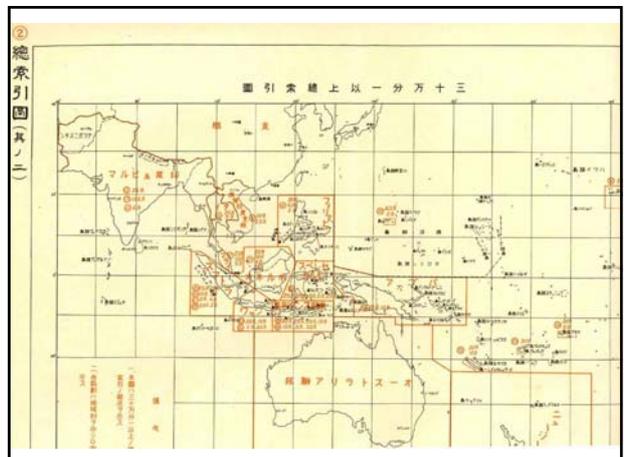
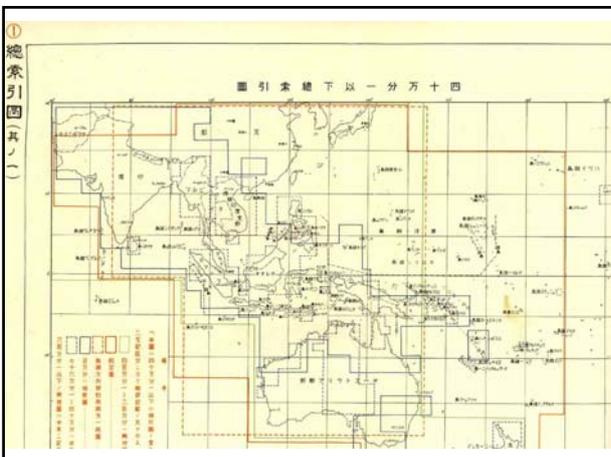
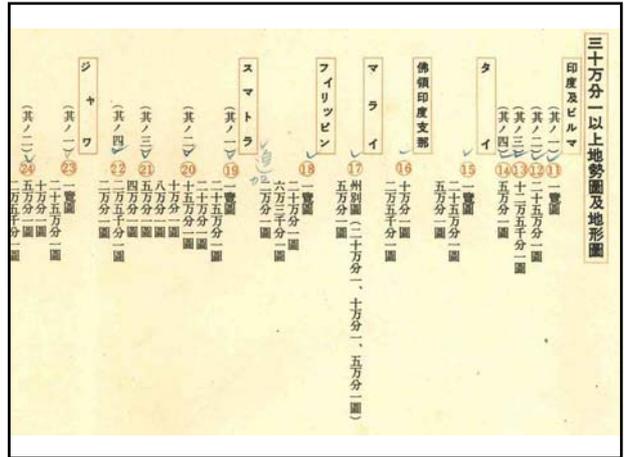
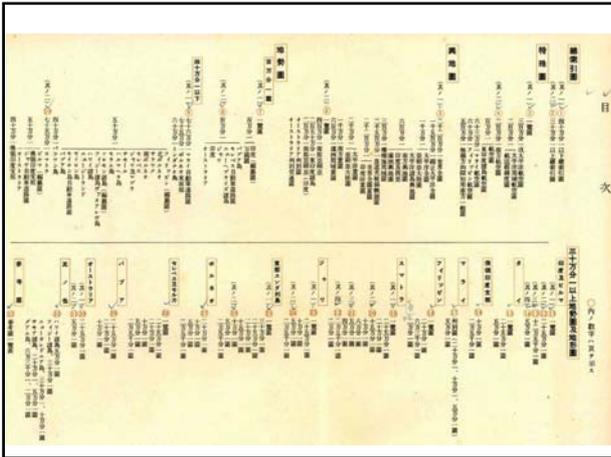
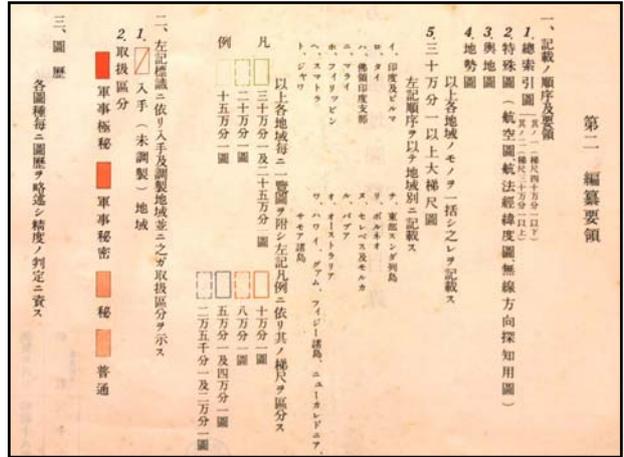
目次

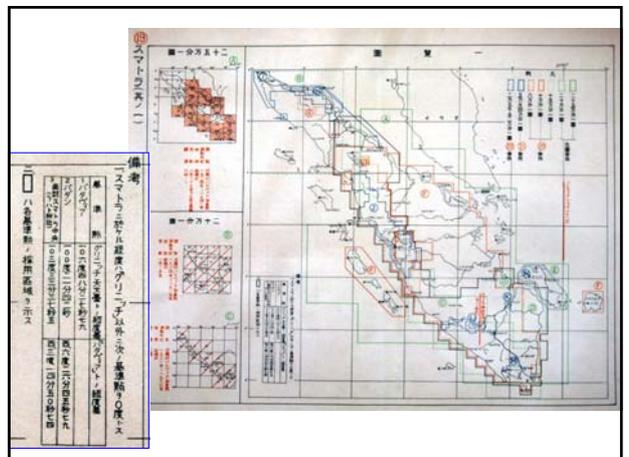
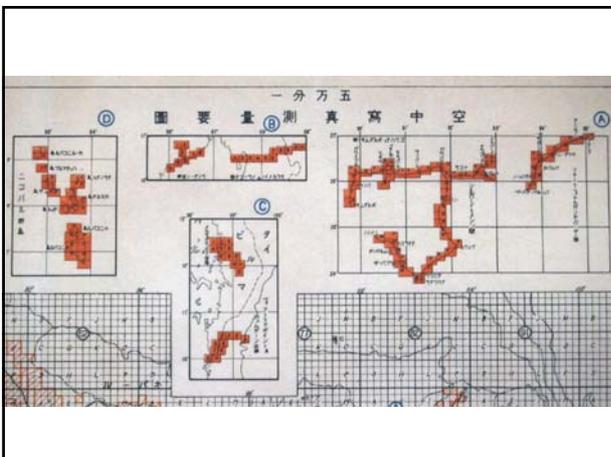
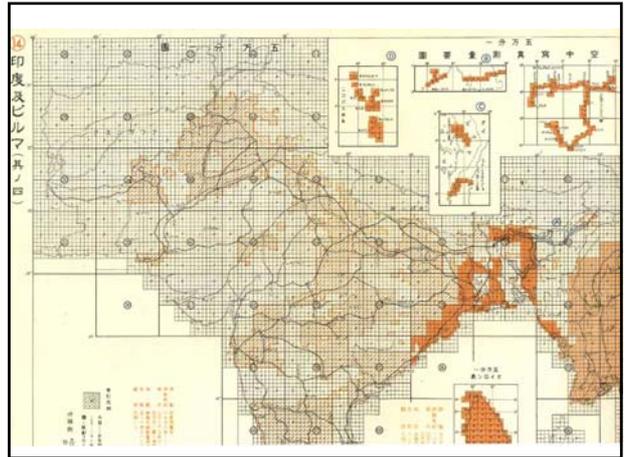
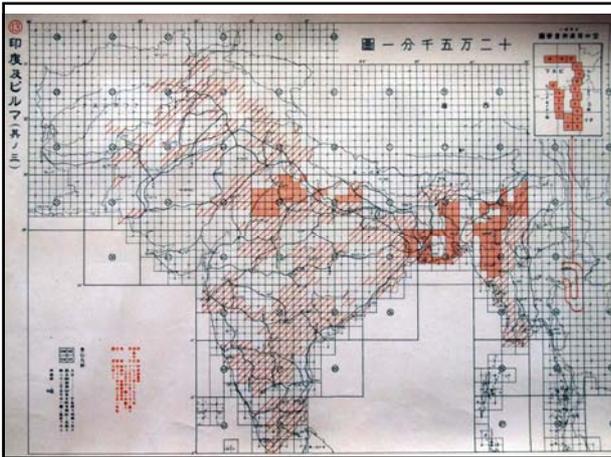
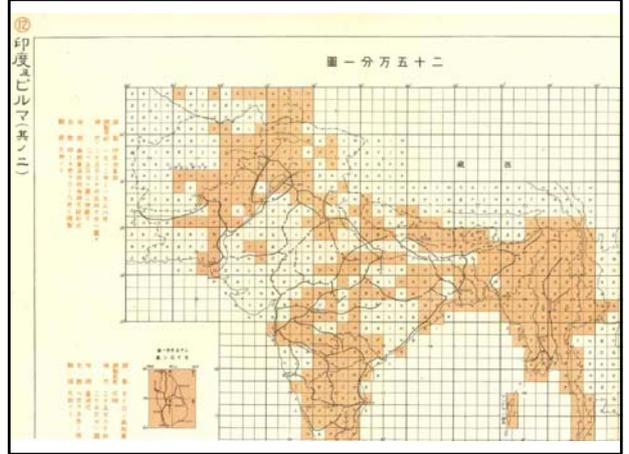
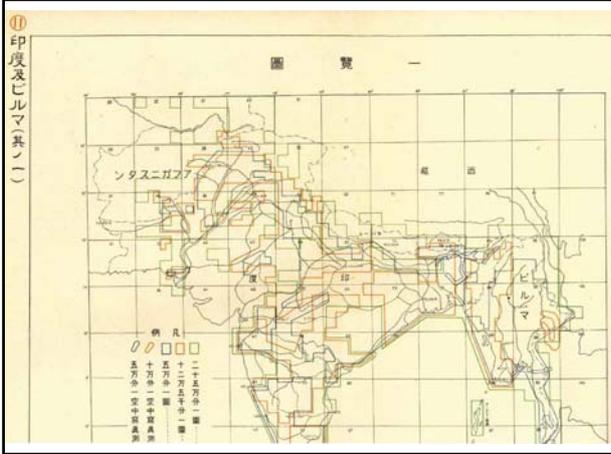
- ① 索引圖(其一)
- ② 索引圖(其二)
- ③ 奥地
- ④ 航空圖
- ⑤ 兵要地誌(其一)
- ⑥ 兵要地誌(其二)
- ⑦ 五十萬分一
- ⑧ 二十萬分一
- ⑨ 十萬分一
- ⑩ 五萬分一
- ⑪ 二萬五千分一
- ⑫ 一萬五千分一
- ⑬ 一萬分一
- ⑭ 五千分一
- ⑮ 二千五分一
- ⑯ 一千五分一
- ⑰ 參考圖一覽表

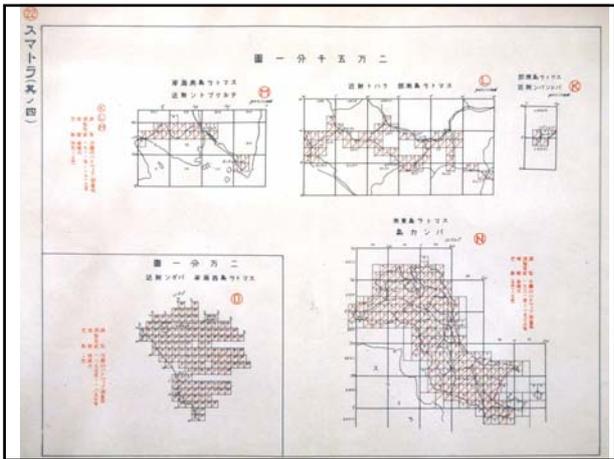
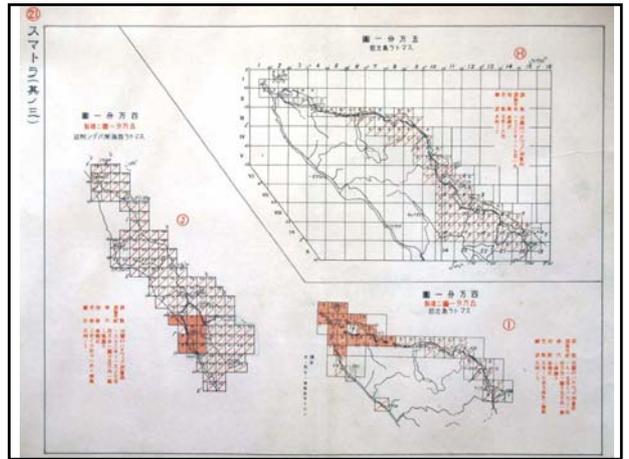
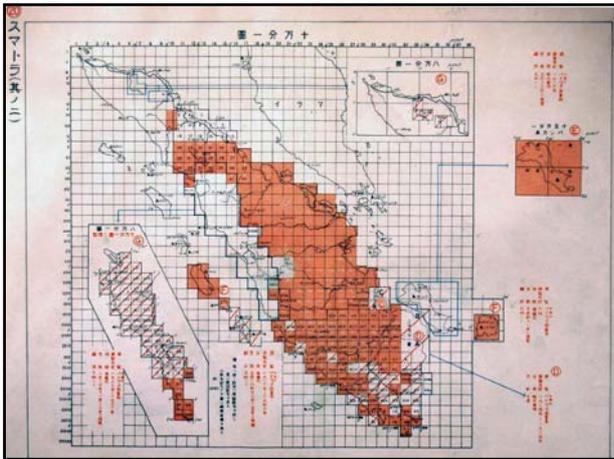


外邦図の「地図一覧図」：その一例

—『南方地域地図整備目録』(参謀本部、昭和17.12.33図業)より





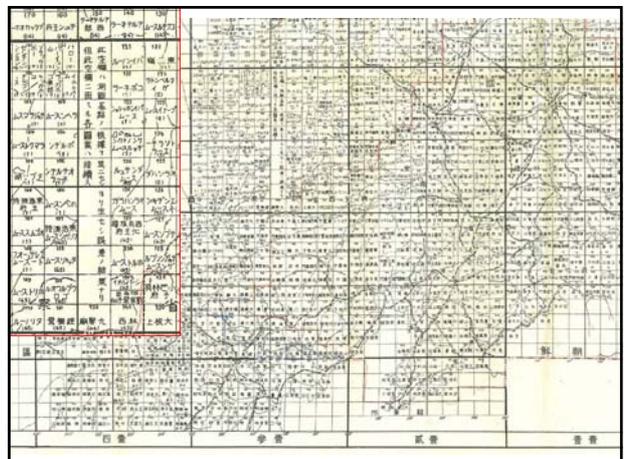
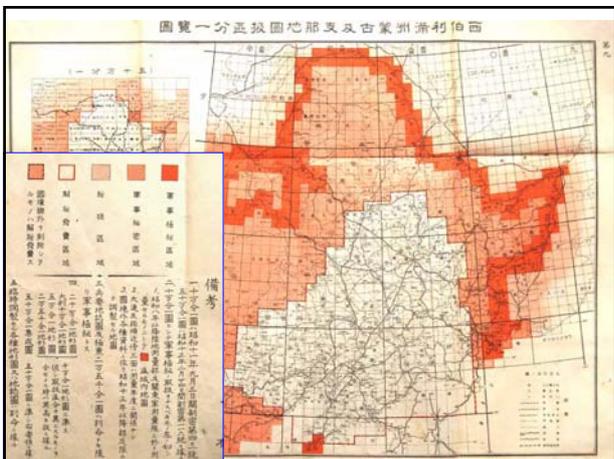


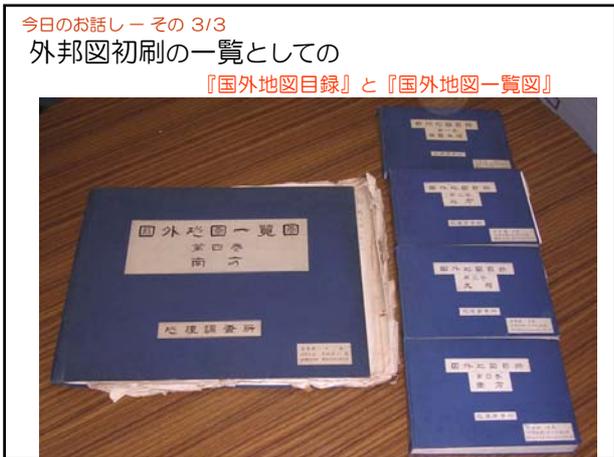
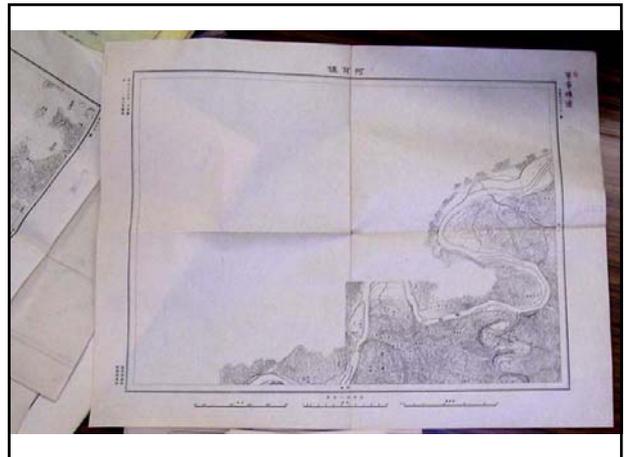
外邦図の「地図一覽図」：その一例

—『関東軍調査・地軍秘密 地図一覽図』(関東軍司令部、昭和16.12.11図業)より

目次

- 第一 奥地圖一覽圖
- 第二 五十萬分一地圖
- 第三 兵要二十萬分一地圖(一覽圖(一)、二)
- 第四 十萬分一地形圖一覽圖
- 第五 大判十萬分一地形圖、地誌圖一覽圖(一)、二)
- 第六 滿洲五萬分一地形圖一覽圖
- 第七 二萬五千分一地形圖一覽圖
- 第八 特別圖一覽圖(集約圖、演習圖、市街圖)
- 第九 地圖取扱區分一覽圖
- 第十 地圖ノ圖部統一及訂正番號改訂要領
- 第十一 方眼系及利用要領
- 第十二

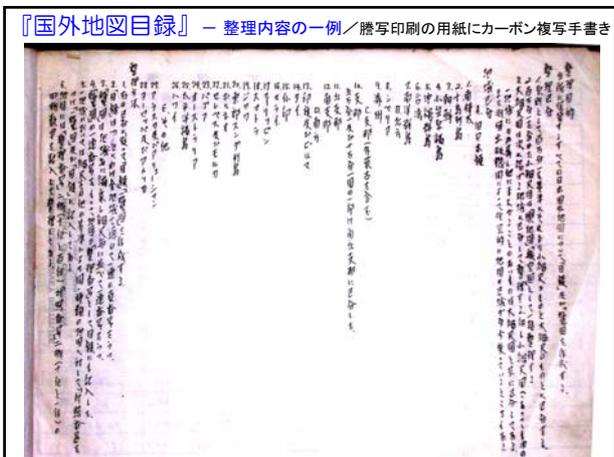




『国外地図目録』と『国外地図一覧図』
 全巻数 4巻
 調査年月日 昭和33年3月31日
 編者 地理院

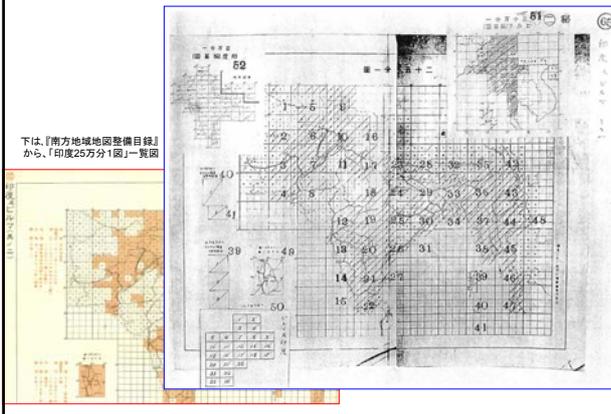
種別	目録ページ	一覧図ページ	巻数
1. 南地図	1~17	1	第一巻
2. 航空図	18~27	8~9	〃
3. 旧日本図	28~220	10~22	〃
イ. 南洋支	28~57	10~11	〃
ロ. 東南列島	58~86	12	〃
ハ. 朝鮮	87~226	13~15	〃
ニ. 小笠原諸島	228~232	16	〃
ホ. 沖縄諸島	233~245	17	〃
ヘ. 台湾	246~280	18	〃
ト. 南洋諸島	270~293	19~22	〃
4. 北方	284~727	23~45	第二巻
イ. シベリア	284~389	23~30	〃
ロ. 滿洲	390~727	31~45	〃
5. 支那(外蒙古含む)	728~1176	46~64	第三巻
イ. 南方	1184~1314	65~69	第四巻
ロ. インド及びビルマ	1315~1327	68	〃
ハ. 仏印	1328~1342	69	〃
ニ. マライ	1343~1357	70	〃
ホ. フィリピン	1358~1387	71~72	〃
ヘ. スマタラ	1388~1414	73~75	〃
ト. ジャワ	1415~1461	76~77	〃
チ. 東部スンダ列島	1462~1474	78~79	〃
リ. ボルネオ	1475~1500	80~81	〃
ヌ. スレスレ及びモルカ	1501~1513	82	〃
ル. バリア	1514~1543	83~85	〃
ヲ. オーストラリア	1544~1557	87~88	〃
ワ. 太平洋諸島	1573~1575	89	〃
カ. ハワイ	1588~1572	89	〃
ア. その他	1177~1183	90~91	〃
イ. アラスカ及びアリューシャン	1177~1181	91	〃
ロ. ニューギニア及びアメリカ	1182~1183	91	〃

【この表は、小林先生による。】



図番号	図名	期間	年代	縮尺	用途	備考	備考	備考	備考	備考
1000	東亞大陸図(自由地)	昭和19年	1:100,000	陸地	陸地	〃	〃	〃	〃	〃
1001	五ノ(一)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1002	五ノ(二)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1003	五ノ(三)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1004	五ノ(四)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1005	五ノ(五)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1006	太平洋全図(海上)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1007	縮小太平洋全図	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1008	五ノ(六)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1009	濠洲区域地図	昭和19年	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1010	印度及西支	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1011	其ノ二	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1012	南洋東地圖	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1013	珊瑚海区域図	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1014	五ノ(七)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1015	アシア大陸図	昭和16年	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1016	太平洋全図	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1017	世界全図	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

『国外地図一覧図』 - 整理内容の一例



『国外地図目録』と『国外地図一覧図』



今日のお話し - 追補：外邦図の精度、ほか

満洲と支那本部を例として、外邦図の作成時期・方法による その精度

満洲

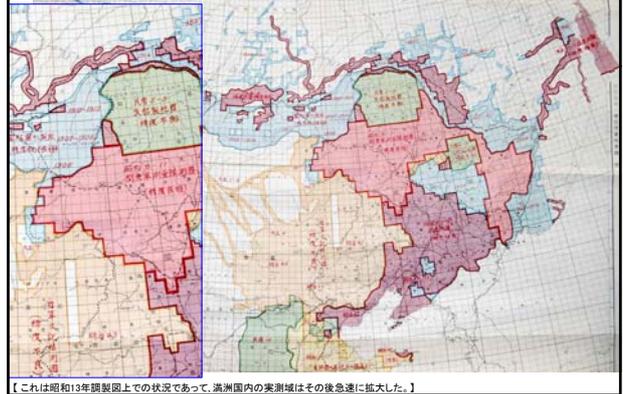
- 初期には、1800年代末～1910年代の、ロシア版の地図を翻刻利用。
(後のシベリア出兵時の占領地図、ほか。)
- 次に、中華民国製の地図(民国4～9(1915～20)年図が多い)を利用。
- 明治末～大正期:併行して、必要な地域に「迅速測図」
- " :地域によっては「目算及記帖測図」も。
- 昭和8年～関東軍測量隊による現地実測測図。
(周辺地域を除いて一般販売。)

支那本部

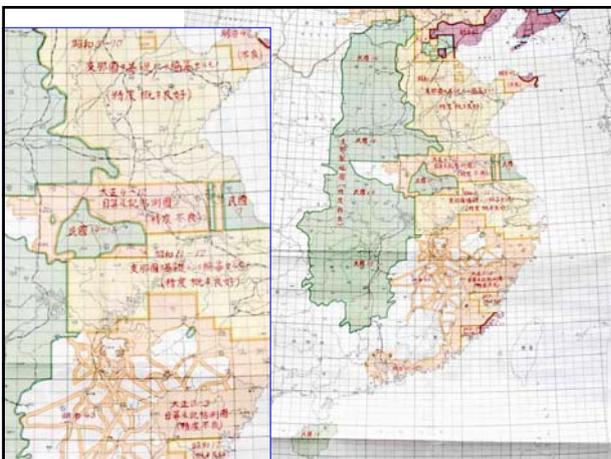
- 明治末～大正期:「目算及記帖測図」が主体
- 昭和9～12年 :東部では、民国5万図の利用(その編集による。)
- 奥地は、民国10万図(民国14～18(1925～30)年図が多い)を。

(以上、次図をご参照。)

参謀本部も、外邦図の精度に大きな精粗があることを承知していた
図一覽度精圖一分万十邦外



【これは昭和13年調査図上での状況であって、満洲国内の実測域はその後急速に拡大した。】



日露戦争時の秘密偵察測図の成果 (小林先生ご入手資料より)



